

臨床検査専門研修プログラム

医療全体を臨床検査から俯瞰できる専門医

募集定員
1名

研修期間
3年

責任者からのメッセージ



検査部
部長 梅北 邦彦

臨床検査はEvidence Based Medicineにおける客観的な指標として、診療にかかせないものです。臨床検査の全般において、その品質の向上と維持に努め、適切かつ信頼性の高いサービスを通して良質で安全な患者診療に貢献する専門医が臨床検査専門医です。臨床検査専門医は臨床検査医学、臨床医学全般に関わる総合的な科学者と位置づけられます。この学際的な側面は、診療だけでなく研究にも参画できる能力を発揮することになります。

プログラムの特徴

初期臨床研修後すぐに専攻医となるのはもちろんのこと、他領域で経験を積んだ後に当該専門領域のキャリアを踏まえて、より検査診断に特化した力量と資質の習得を目指すこと(セカンドキャリア)も可能です。臨床経験豊富な他基本領域専門医取得者には、初期臨床研修修了後の専攻医と同じプログラム制の研修はそぐわないと考えられ、この場合は、カリキュラム制の研修を行うことを可能とします。カリキュラム制とは、研修の形態の詳細は問わず、到達目標を達成すれば認定試験受験資格を与えるものです。

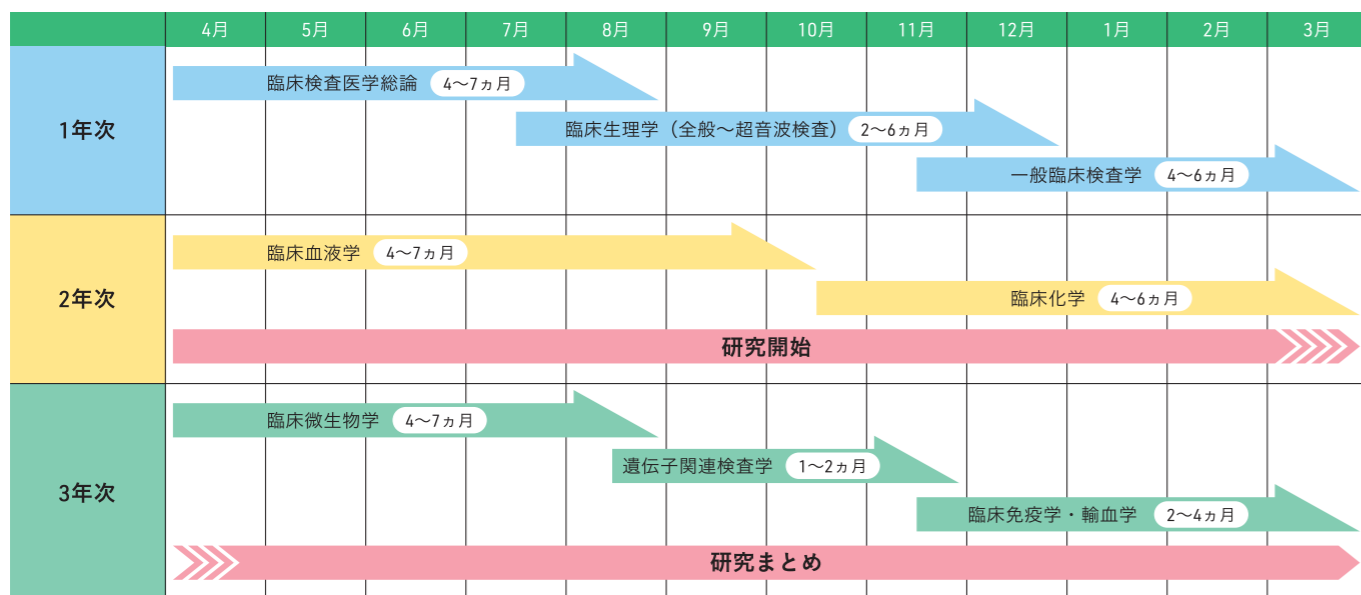
取得可能な専門医資格および技能

臨床検査専門医の資格を取得できます。臨床検査専門医のSubspecialty領域は現時点ではまだ決まっていません。想定される専門医には、感染症専門医、超音波専門医、臨床遺伝専門医、人間ドック健診専門医、消化器内視鏡専門医などがあり、どれも本研修と連続性を持った追加の研修が可能です。

専門医取得までのタイムスケジュール

まず日本臨床検査医学会に入会していただき、プログラム制ではストレート研修、カリキュラム制では、その方の希望に応じた研修スケジュールを相談して決めます。

以下はプログラム制の例です。3年間の研修を5年かけてゆっくり研修するコースなども設計できますので、ご相談ください。



プログラム達成目標

以下の項目達成をプログラム制では3年間の目標とします。

- 1 経験すべき臨床検査として、臨床検査医学総論、一般臨床検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学・輸血学、遺伝子関連検査学、臨床生理学があります。
- 2 報告書の作成とコンサルテーションへの対応として、臨床検査の報告書作成、施設内のチーム医療活動への参加、コンサルテーション対応などがあります。
- 3 検査データカンファランス(RCPC: reversed clinico-pathological conference)に参加します。
- 4 宮崎県で行われる地域の検査事業に参加します。また臨床検査専門医資格を受験するためには臨床検査医学(臨床病理学)に関する筆頭者としての原著論文、または学会報告が3編以上あること(ただし、そのうち筆頭者としての原著論文が少なくとも1編以上あること)が必要です。

主要症例名と実績数

- 1 臨床検査医学総論：外部精度管理(日本医師会、日本臨床衛生検査技師会、CAPなどが実施)の成績(3回以上)。
- 2 一般臨床検査学・臨床化学：内部精度管理(10項目以上について。各項目は1回以上)。パニック値を含めた異常値症例(10項目以上について。各項目は3回以上)。
- 3 臨床血液学：内部精度管理(5項目以上について。各項目は1回以上)。パニック値を含めた異常値症例(5項目以上について。各項目は3回以上)。病的末梢血液像、病的骨髄像についてはあわせて10例以上。
- 4 臨床微生物学：一般細菌培養(グラム染色所見を含む)により起原因菌同定と薬剤感受性試験が行われた症例(10例以上)。抗酸菌培養、抗酸菌塗抹検査が行われた症例(3例以上)。
- 5 臨床免疫学・輸血学：内部精度管理(5項目以上について。各項目は1回以上)。パニック値を含めた異常値症例(5項目以上について。各項目は3回以上)。血液型判定(変異型も含む)、クロスマッチ、不規則抗体検査が行われた症例(3例以上)。
- 6 遺伝子関連検査学：血液造血器腫瘍、悪性腫瘍、薬物代謝に関連した遺伝子、または遺伝性疾患の遺伝子診断が行われた症例(2例以上)。
- 7 臨床生理学：超音波検査(5例以上)、心電図検査(5例以上)、呼吸機能検査(2例以上)、神経・筋関連検査(2例以上)。超音波検査は実施したものとす。

週間スケジュール

下の例は臨床生理学(特に超音波検査)の研修を優先させる場合について記載します。

○ 超音波検査集中研修時

時間	月	火	水	木	金
午前	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修	指導医による指導・自己学習
午後	超音波検査研修				
夕方	臨床科カンファランス	臨床検査科カンファランス	臨床検査科勉強会	研究カンファランス	自己学習またはRCPC

○ 超音波検査研修修了後

時間	月	火	水	木	金
午前	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修・業務	指導医による指導・自己学習	超音波検査研修・業務	指導医による指導・自己学習
午後	検査室研修・検体検査診断業務				
夕方	臨床科カンファランス	臨床検査科カンファランス	臨床検査科勉強会	研究カンファランス	自己学習またはRCPC

指導医による指導・自己学習

検査室以外の場所(医局、研修室など)での研修です。指導医や上級検査技師によるミニ講義、過去の検査報告書・教材の自己学習、研修レポートの作成などを行います。

検査室研修・検体検査診断業務

検査室における研修で、検査の実施、見学、判定、報告書作成などを行います。研修が修了している検体検査科目は診断業務を行います。例えば、血液検査の研修が修了していれば骨髄像検査の報告書作成を行います。

お問い合わせ先 TEL: 0985-85-7284
FAX: 0985-85-4709
担当: 梅北 邦彦 e-mail: kunihiko_umekita@med.miyazaki-u.ac.jp